令和3年度 入学試験問題

医 学 部 (Ⅱ期)

英 語

数 学·国 語(選択科目)

注 意 事 項

- 1. 試験時間 令和3年3月6日,午前9時30分から11時50分まで
- 2. 配付した試験問題(冊子)、解答用紙の種類はつぎのとおりです。
- (1) 試験問題(冊子, 左折り)(表紙・下書き用紙付)

英 語

数 学(その1, その2)

国 語(その1, その2)

(2) 解答用紙

英語 1枚(上端黄色)(右肩落し)

数 学(その1) 1枚(上端茶色)(右肩落し)

" (その2) 1枚(上端茶色)(左肩落し)

国 語(その1) 1枚(上端紫色)(右肩落し)

" (その2) 1枚(上端紫色)(左肩落し)

数学、国語は選択した1科目(受験票に表示されている)が配布されています。

- 3. 下書きが下書き用紙で足りなかったときは、試験問題(冊子)の余白を使用して下さい。
- 4. 試験開始2時間以降は退場を許可します。但し、試験終了10分前からの退場は許可しません。
- 5. 受験中にやむなく途中退室(手洗い等)を望むものは挙手し、監督者の指示に従って下さい。
- 6. 休憩のための途中退室は認めません。
- 7. 退場の際は、この試験問題(冊子)を一番上にのせ、挙手し、監督者の許可を得てから、試験問題(冊子)、受験票、下書き用紙および所持品を携行の上、退場して下さい。
- 8. 試験終了のチャイムが鳴ったら、直ちに筆記をやめ、おもてのまま上から解答用紙〔英語、数学(その1)、数学(その2)、または、国語(その1)、国語(その2)、計3枚〕、試験問題(冊子)の順にそろえて確認して下さい。確認が終っても、指示があるまでは席を立たないで下さい。
- 9. 試験問題(冊子)はお持ち帰り下さい。
- 10. 監督者退場後、試験場で昼食をとることは差支えありません。ゴミ入れは場外に設置してあります。
- 11. 試験会場内では、昼食以外は、常にマスクを着用して下さい。
- 12. 休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を原則禁止します。
- 13. 午後の集合は1時です。

令和3年度医学部選抜Ⅱ期入学試験

問題冊子 訂正

数学 (その2)

P.12 4 - (3) 問題文を訂正します。

(誤) $y = 2\cos 3x + \cos 2x + 2\cos x$ の最大値, 最小値を求めよ。

(正) $0 \le x \le 2\pi$ のとき、

 $y = 2\cos 3x + \cos 2x + 2\cos x$ の最大値、最小値を求めよ。

※訂正があるので、板書書きをしたうえで、 アナウンスをしてください。聞き取れなかっ たと質問された場合は、この用紙を見せて口 頭で話さないでください。

英 語

1. The textbook on	biology is comprehen-	sible and, () is n	nore, it is highly readable.
A. what	B. that	C. which	D. as
2. As for the keyno	te speaker, Prof. Kur	oda has been ()	in as your replacement.
A. planed	B. penciled	C. substituted	D. participated
3. Most Japanese p	eople look relatively y	oung () their ag	re, don't they?
A. against	B. at	C. on	D. for
4. Child () I	was, I could swim as	fast as my brother, wh	no was then a college stude
A. as	B. since	C. even though	D. when
5. A three-day ceas	efire()the two	o countries to reach an	agreement.
A. made	B. saw	C. stopped	D. allowed
6. It is reported tha	it the thief was seen	() the attic by th	ne servant.
A. enter	B. be entered	C. to enter	D. being entered
	ncer who has never b	een as well-known in Ja UK.	apan, or () that ma
A. in	B. for	C. as	D. with
O I4 J	arily () that y	ou're going to live a ha	appy life even if you're hig
intelligent.			
	B. prove	C. follow	D. claim
intelligent. A. make	- -		
intelligent. A. make	- -	he campus network wit	D. claim
intelligent. A. make 9. () you have	ve to do is sign in to t B. That	he campus network wit C.All	D. claim th your ID and password. D. Anything

11. Even these old b	oots might come () handy when you g	go fishing in the rainy season
A. with	B. at	C. to	D. in
	•		
12. Such outdated ba	ackground information	is () little value	e to the intelligence agencies.
A. of	B. by	C. for	D. on
13. It is not always of	easy to () a bala	ance between work an	d life.
A. pull	B. seize	C. strike	D. take
14. Fame and fortun	ne (), Sir Colin ı	never congratulated hi	imself.
A. notwithstandin	ıg	B. however	
C. although		D. despite	
15. The final movem	ent of the sonata is () to play on the	violin.
A. interesting	B. beautiful	C. melancholic	D. difficult
Superior exposed the company of the			
Allega Market and Salaman			
are recall to the control of a			
ant.			

- [1] On 28 February 2003, the French Hospital of Hanoi, Vietnam, a private hospital of fewer than 60 beds, consulted the Hanoi office of the World Health Organization (WHO). A business traveller from Hong Kong had been hospitalized on 26 February for respiratory* symptoms resembling influenza that had started three days before. The WHO medical officer, Dr Carlo Urbani, an infectious disease epidemiologist* and a previous member of Médecins Sans Frontières*, answered the call. Within days, in the course of (7) three more people fell ill with the same symptoms, he recognized the aggressiveness and the highly contagious* nature of the disease. It looked like influenza but it wasn't. Early in March the first patient died, while similar cases started to show up in Hong Kong and elsewhere. Dr Urbani courageously persisted working in (イ) he knew to be a highly hazardous environment. After launching a worldwide alert via the WHO surveillance network, he fell ill while travelling to Bangkok and died on 29 March. A run of new cases, some fatal, was now occurring not only among the staff of the French Hospital, (ウ) in Hong Kong, Taiwan, Singapore, mainland China, and Canada. Public health services were confronted with two related tasks: to build an emergency worldwide net of containment, while investigating the ways in which the contagion spread in order to pinpoint its origin and (エ) discover how the responsible agent, most probably a micro-organism, was propagated*. It took four months to identify the culprit of the new disease as a virus of the corona-virus family that had jumped to infect humans from wild small animals handled and consumed as food in the Guangdong province* of China. By July 2003, the worldwide propagation of the virus, occurring essentially via infected air travellers, was blocked. The outbreak of the new disease, labelled SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome), stopped at some 8,000 cases and The toll would have been much heavier were it not for a remarkable international collaboration to control the spread of the virus through isolation of cases and control of wildlife markets. Epidemiology was at the heart of this effort, combining investigations in the populations hit by SARS (オ) laboratory studies that provided the knowledge required for the disease-control interventions.
- [2] Epidemiology owes its name (力) 'epidemic', derived from the Greek *epi* (on) and *demos* (population). Epidemics like SARS that strike as unusual appearances of a disease in a population require immediate investigation, but essentially the same investigative approach applies to diseases in general, whether unusual in type or frequency or present all the time in a population in an 'endemic*' form. In fact, the same methods are used to study normal physiological* events such as reproduction and pregnancy, and physical and

mental growth, in populations. Put concisely, epidemiology is the study of health and disease in populations.

(Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear)

[出典: Rodolfo Saracci (2010) Epidemiology: A Very Short Introduction]

Notes

respiratory 呼吸器官の

epidemiologist 疫学者

Médecins Sans Frontières 国境なき医師団(1971年に設立された医療活動などを行う国際NGO)

contagious 接触伝染性の

propagate 伝播させる

Guangdong province 広東省

endemic (病気や問題などが特定の地域や集団に)特有の

physiological 生理的な

1. 本文中の(アー)~(- カー)に入れるのに最も適切なものを、それぞれ1~4の中から1つずつ選び、記号で答えなさい。

- (\mathcal{T}_{+}) 1. what 2. that 3. which 4. when (イ) 1, that 2. which 3. what 4. where (ウ) 1, as 2. but 3. resulting 4. further 4. to (エ) 1. therefore 2. so 3. thus (オ) 3. against 1. in 2. with 4. at (力) 1. for 2. to 3. with 4. about
- 2. 下線部(1)~(3)の語の本文中の意味と最も近い意味を持つものを 1 ~ 4 の語の中から 1 つずつ 選んで、記号で答えなさい。
 - (1) run
 - 1. race
- 2. series
- 3. journey
- 4. dash

- (2) culprit
 - 1. effect
- 2. accomplice
- 3. symptom
- 4. cause

- (3) heart
 - 1. center
- 2. mind
- 3. chest
- 4. courage

3. [2]の下線部を日本語に訳しなさい。

>

数 学 (その1)

- 次の各問いに答えよ。ただし、答えは結果のみを解答欄に記入せよ。 a を正の実数とし、複素数平面上の点 $z_1 = \sqrt{2}$ $a + \sqrt{2}$ ai, $z_2 = \frac{3\sqrt{3}}{2}$ $a \frac{3}{2}$ ai を考える。また、 z_1 および z_2 を原点のまわりに角 θ_1 および θ_2 ($-\pi \le \theta_1 < \pi$, $-\pi \le \theta_2 < \pi$)回転させた点をそれぞれ w_1 および w_2 とする。ただしi は虚数単位とする。
 - (1) $|z_1z_2|$ および $\left|\frac{z_1}{z_2}\right|$ を求めよ。
 - (2) $\theta_1 = \frac{\pi}{4}$ および $\theta_2 = \frac{\pi}{6}$ のとき、 w_1 および w_2 の値を求めよ。
 - (3) $|w_1 + w_2|$ の最大値と最小値を求め、そのときの θ_1 と θ_2 の関係をそれぞれ示せ。

2 次の各問いに答えよ。ただし、答えは結果のみを解答欄に記入せよ。

 \triangle OABにおいて、OA = 7、OB = 8、AB = 9 とする。また、 \triangle OABの垂心を H、内心を I、外心を J とする。 $\overrightarrow{OA} = \overrightarrow{a}$ 、 $\overrightarrow{OB} = \overrightarrow{b}$ とするとき、次の問いに答えよ。

- (1) 内積 $\overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{b}$ を求めよ。
- (2) \overrightarrow{OH} を \overrightarrow{a} , \overrightarrow{b} を用いて表せ。
- (3) \overrightarrow{OI} を \overrightarrow{a} , \overrightarrow{b} を用いて表せ。
- (4) oJ を a, b を用いて表せ。

数 学 (その2)

- 3 次の各問いに答えよ。ただし、答えは結果のみを解答欄に記入せよ。
 - (1) m > 1とする。xy 平面において,

放物線 $y = mx - x^2$ ……… ① と 直線 y = -x + m ……… ② とがある。

- (1-1) ①と②の交点の座標をすべて求めよ。
- (1-2) ①と②とで囲まれる図形の面積と、①と②およびy軸とで囲まれる図形の面積が等しいとき、その面積をSとする。そのときのmの値とSの値を求めよ。
- (2) 3個のサイコロを同時に投げた。 サイコロは、1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。
 - (2-1) 出た目に2または3が含まれる確率はいくらか。
 - (2-2) 出た目の和が偶数である確率はいくらか。
 - (2-3) 出た目の和が12である確率はいくらか。

- 4 次の各問いに答えよ。ただし、答えは結果のみを解答欄に記入せよ。 (1) $\int_0^1 \log(x+2) dx$ を求めよ。

 - (2) $F(x) = \int_{x}^{x+1} \frac{1-t}{t^2+1} dt$ を最大にする x の値を求めよ。
 - (3) $y = 2\cos 3x + \cos 2x + 2\cos x$ の最大値、最小値を求めよ。

国 語(その1)

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

当然のこととして受け入れてきた。それはよくわからない仕組みになっていて、 たものである。 人間は「親は、 だから自分で選べるものではない、そう考えてきたのだ。 自分の子どもの性格や身体的な特徴を選ぶことはできない」ということを 授かり、

まれてくるということもあれば、長じてから親子で対立したり不幸な人生をたどる、 もを」と思っていたら、どちらかというとずんぐりむっくりした子どもだったとか、 もあっただろう。 出世する子を」と願ったけれどもそうはならず、 -そのようなケースは数限りなくあった。なかには短命であるとか、病気や障害をもって生 「男の子がほしい」と熱望していても女の子が生まれたとか、 でも気立てがよく優しい性格の子を授かっ 「背の高い、 ということ 「ソウメイ の の 子ど

もってきた特徴を含めて、その子そのものへの愛をより深めていくのではないだろうか。 対する愛はなくなるものだろうか。 に受け入れ、何とかその子なりに幸せを得てほしいと願うだろう。そして、その子自身が生まれ ところがあるだろう。では、そのような期待した特徴が失われているとわかったとき、 けるようになるなど、「こうあってほしい」という特徴が現れたとき、親は大いに喜び、 このように、子を授かるとはまさに「思い通りにならないこと」だった。では、そのことを親 1 」と嘆くものだろうか。また、生まれてきた子どもがしゃべり始める、 そうではなく、 その子を深く気づかい、 その子をありのまま 立って歩

語を使う人の生活感覚に即した理解ができるだろう。 せてくれるものだと思うが、これを「授かりもの」とか「恵み」という言葉でとらえると、 言葉を使っている。 「いのちとは授かりものである」という言葉が指し示そうとしているのは、 邦訳書での「被贈与性」という訳は、 この言葉が含むへ ア このような生き方、 〕な側面を意識さ より日本

デルは言う。 という感覚のなかに、 るものと捉え直してみると、より深い理解にたどり着くことができるだろう。この「授かりもの」 ニュアンスも含まれているが、「恵み」や「おかげ」という言葉についても、同様にそんな側面があ けとめる]ものだと言える。そこにはややゲンシュクな、ある種の無常観やテイカンのようなb______ しれない。 [神様の恵み] [神様のおかげ]などという言い方から感じられるように、 幸せ/不幸というような 明るく楽観的なものとして、 「授かりもの」という言葉は、 人類がこれまで大切にしてきた知恵が存在しているのではないか、 ② | を超えた次元で、「神から与えられた尊いものを受 神や自然の(イ まさに今あげた「いのちとは授かりもの」という使)を表現するものと理解できるかも 「恵み」とか「おかげ」と

そして社会という人類の共同生活は成り立たない。また、子どもは親の思うようになるわけでは に関わる言葉としてすぐに理解できる。 の意義も説く。 それを通して ということを受け入れるという経験は、 主に親子関係を念頭において組み立てた用語だが、 サンデルは「予期せざるものを受け入れる姿勢(openness to the unbidden)」ということ これはウィリアム・メイ(一九二八~二〇一四)という現代のプロテスタントの神 3 も成熟していく。 新しいいのちを受け入れることができなければ、家族、 人が子どもを育てるときに避けがたいものであ 「子どもを授かり育てる」ということ

だと言えるだろう。 らないことをたくさん抱えながらも、それをお互いに認め合って進んでいく。親子に限らず、 様な関係を包含する家族とは、 そして、これは子をもつ親に限られることではない。 そのような経験の典型的かつ根本的な場であり、 人は人と共に生きるとき、 偉大な学びの場 思うようにな 多

より弱い立場に置かれた人たちに対する暴力の場となってしまうことも少なくない。 とくに現代社会では、家族が社会から孤立して閉鎖的な場となり、子どもや女性といった そこに属する個人を抑圧するものとして働いてしまうことは、これまで何度も経験されて 常に家族が〔 ウ 〕な場になりうるかというと、必ずしもそうではない。 いう集

れる。 れたつながり、があり、そうした人びとの集いでは、 れていることも多く存在している。 地域社会や職場、 「予期せざるものを受け入れる姿勢」は、 さまざまな仲間や団体など、私たちが生きていくなかには多様など 家族のなかに限らず、 「予期せざるものを受け入れる姿勢」が尊ば それ以外の場でも養わ

るいは価値観が失われてしまうだろう、と述べている。 らないからこそ深く理解されるいのちの尊さ」を理解する力とともに、 理解する重要な鍵があるのではないか 「選べないもの、 変えていこうとするならば、この姿勢から遠ざかっていくことになり、 思うようにならないもの」を受け入れる開かれた姿勢、そこにいのちの働きを ―これがサンデルの立場だ。人間の意図に沿ってすべて 人間がもつ三つの 「思うようにな

を合わせていく姿勢が、すなわち謙虚さが弱ってしまう。 が感じとれなくなってしまう。自己への過信のために、自然や他者から受け入れたり、ともに力 意識も大切だ。 とだ。ただ一方で、その人の努力の多寡にかかわらず、人には自分の力だけではどうにもできな なものになってしまうだろう いこともあり、 一つ目は「謙虚」。 Α だからこそ今与えられているものをありがたく受け止めることができる、 ・弱さというものを引き受けつつ、身の回りの自然や他者を通して得られる恵み もし、自力でできる、 自分の力で何かを成しうる、という意識は生きていくうえでとても大事なこ ということばかりに価値を置いてしまうと、 [生きていることの喜び]も自己中心的 自分自身の欠 という

員会では、ウ 二つ目は「責任」という観点だ。 エンハンスメントの問題点について、「個人の主体性を失わせる」、 すでに見たように、 サンデルも参加していたレオン・カスの委(注2) つまり自分の力で

れば、 すべてその「個人」に負わされることになる。 図的にコントロールできるような社会になると、 何事かを成し遂げるための力が失われる、 運命や偶然など「人間の手ではコントロールできないもの」と考えられてきたことまでも意 「個人が負わされる責任が大きくなりすぎる」ことが問題ではないかと述べる。 というところに力点を置いた。ところが、 好ましい結果が得られなかった場合の責任は、 サンデルは 以前であ

任の範囲が拡大していき、 取るべき十分な対策を怠ったから病気になったのだ|ということになると、個人に負わされる責 だから仕方ない」と考えられてきた側面があり、 苦しめられるようになるだろう。 か望ましくないことが訪れる度に、 いうふうに理解されてきた。ところが、 病気にかかるということは、 やがて個人では担いきれなくなるほど肥大化する。 かつては「二エ 「自分が判断を誤ったためではないか」というカイコンの念に これが「自分が(あるいは、 また「だから、 〕ではどうにもならない、 みんなで助けてあげなければ」と 子どもに対してはその親が) よくわからないこと それに加えて、

が自ら選び取ったもの、 そして三つ目の価値観は「連帯」だ。人生の幸や不幸、病気や障害の有無、 ともに助け合っていこうという! オ つまり自業自得であるということになれば、 〕は当然小さくなる。 苦境にある他者を助けよ 寿命などが、

以来の「講」、1 ジョ的な関係を築いてきたのだ。 が足りないために不利な境遇に陥るわけではない。だからこそ人びとは、弱い立場にある人をか められたために違いが生まれるのであって、 しかし実際は、宮 人助けに重きを置き、 あるい 家族関係や社会的立場、 は現在の保険の仕組みのような、 困ったときには助け合うことに生きがいを感じてきた。 その他さまざまな要因によってたまたまそのように定 必ずしも個人の努力によって好条件を得たり、 苦境にある人をみんなで支える、 また、 相 互 e フ| 努力

識というものが大きく関わっている。 ど頻繁に使われるのもその一面と言える。 ような医療のあり方は、 その人自身(や親)が自分で選んだもの、ということになってくると、 に陥っている。 まってきている。 てお互いに助けようとする、 今日の社会では、 連帯。この三つの ならば助ける必要はない」というように。 たとえば貧困という問題を取ってみると、「その人が努力しなかったから貧困 そのような個々 そうした という動機はどんどん小さくなっていってしまうのではない の違いを「 (5) Α バイオテクノロジーを用いて人為的に、生、を拡大し そうして、 の根本には、 への自覚を見失わせてしまうのではないか。 4 生まれながらの身体的条件や環境までも、] |に回収させようとする傾向が次第に 昨今、 人間の自らの「 「自己責任」という言葉がこれほ 他者の苦しみや悩みに共感 」に対する意 てい

るか?」(『(いのち)はいかに語りうるか? (島薗進「医学・医療領域におけるゲノム編集の倫理問題 生命科学・ 生命倫理における人文知の意義 人をつくりかえる技術は許容でき

(注 1)
サンデル――
Michael J.
Sandel(
九五三~)。
アメリカの哲学者。

- (注2) 命倫理評議会元議長。 レオン・カスー ─Leon R. Kass(一九三九~)。アメリカの医師・哲学者。 大統領生
- 注3 医学やバイオテクノロジーを用いること。 エンハンスメント 身体能力の増強や知的能力の向上を目的として、 治療を超えて
- 注4 貯蓄や融資のための、 一種の金融組合のようなもの。

設 問 1	
空欄	
1	
に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。	

ア 技術は役に立たない

思い通りだった

ゥ こんなはずではなかった

工 女の子がよかった

日頃の行いのせいだ

設問2 文で説明せよ(句読点も一字として数える。 傍線部ア 「このような生き方、 考え方」とはどういうものか、 冒頭の一字下げは不要)。 五〇字以上六〇字以内の一

設問 空欄 2 | に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、 記号で答えよ。

表面的な価値観や感覚

ウ 厳密な二項対立の図式

工 運

論理的に説明できる世界

設問 4 ア 3 に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、 記号で答えよ。

社会全体 1 子ども自身 ウ 家族自体 I 親自身 才 人類全体

設問 5 を書け(句読点も一字として数える)。 ○字のひとつづきの部分を、 「人間がもつ三つの徳」について傍線部イ「一つ目は「謙虚」」とあるが、 これ以降の本文中から探し、 その初めの三字と終わりの三字 それを説明した六

設問 本文中のすべての空欄 Α に共通して入る最も適切なものを次の中から一つ選

び 記号で答えよ。

ア

質 不 安 ウ 素 質 工 限 オ 性

16

設問7 え方の違いを説明する文として最も適切な文を次の中から一つ選び、 傍線部ウ「エンハンスメントの問題点」について、 レオン・カスの委員会とサンデル 記号で答えよ。

- する副作用について、 摘するレオン・カスの委員会に対し、サンデルは、 ことも認められており、 エンハンスメントには期待される効果とは裏腹に甚大な副作用が生じる可能性がある 個人は責任を負いきれないと指摘している。 結果として人間としてのさまざまな能力が失われる危険性を指 偶然や運次第で出たり出なかったり
- 的な能力が社会に埋没してしまうことを危惧するレオン・カスの委員会に対 エンハンスメントの個人利用における責任の重さを疑問視している。 個人になされるエンハンスメントは結果として社会全体を増強するため、 もともと意図的にコントロールできるものをコントロールできないものに変える Ĺ 個人の主体 サンデ
- ウ し、サンデルは、エンハンスメントによってもたらされる不利益の影響範囲が社会全体 におよぶにもかかわらず、 な精神力は増強されないため、 エンハンスメントによって増強される力は身体的な能力の増強であり、 その責任を個人に追及することに問題があるとしている。 そのアンバランスを危惧するレオン・カスの委員会に対 人間の内面
- I かせることで失われることを危惧するレオン・カスの委員会に対し、 人の責任の大きさとその過剰な負担を危惧している。 ハンスメントで生じる不利益は取り返しのつかないものであるがゆえに、 何かを成し遂げようとする際の人間の本来的な意欲や能力が、エンハンスメントにま サンデルは、 負わされる個 エン
- 才 などの反社会的行動がなされた場合の個 的に自分の能力をコントロールできなくなることを危惧するレオン・カスの委員会に対 エンハンスメントではしばしば期待以上の能力増強効果が生じてしまい、 サンデル は そうした人並み外れた制御不能な身体的かつ知的能力によって、 人の責任のあまりの大きさに警鐘を鳴らしてい 個人が主体

設問 定められたために違いが生まれる」とあるが、 文で説明せよ(句読点も一字として数える。 傍線部工[家族関係や社会的立場、 その他さまざまな要因によってたまたまそのように 冒頭の一字下げは不要)。 どういうことか、 五〇字以上六〇字以内の

設問9 4 に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、 記号で答えよ。

人の責任 1 個人の経済力 ウ 社会の規範 I 身体の能力 オ 貧困の連鎖

設問 10 傍線部オ「他者の苦しみや悩みに共感してお互いに助けようとする、 という動機はどん

を次の中から一つ選び、 どん小さくなっていってしまうのではないか」とあるが、 その理由として最も適切なもの

記号で答えよ。

- する力が次第に弱まる傾向にあるから。 現代の社会では、身体的条件などの能力によって、自分とは異なる他者に対して共感
- まれついただけだから。 個人の抱える貧困や苦境は、当人の努力とは無関係で、 たまたまそのような環境に生
- ウ 識が社会全体として欠落しているから。 人助けに重きを置いたり、困ったときには助け合うことに生きがいを感じたりする意
- I 自身の努力不足が原因で、自業自得とみなされつつあるから。 個人が置かれる苦境や貧困は、自力ではどうにもならない運命や偶然ではなく、
- 科学の高度な発達により重視されなくなりつつあるから。 どんな状況でも苦しみは社会全体で共有するという人間の根本的な社会性が、

設 問 11 空欄 (5) に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

7 合理性 1 倫理性 ウ 論理性 I 相互性 オ 普遍性

設問12 文中の(「アー)から(「オー)に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを次の四つ の中から一つ選び、その番号を答えよ。

11、分 2 理 豆 教育的 Ξ **3** 志

. 了 7 秩序 色 創造的 Ξ 医 療 **3**

望

2

3

7 雑多 1 豊かさ 9 開放的 Ξ 民 **3** 欲

 $\overline{4}$ 7 7 9 理想的 Ξ 知 **₹**

設問 13 傍線部a、 ソウメイ þ, c, b ď ゲンシュク eのカタカナに相当する漢字を楷書で書け。 C テイカン d カイコン е フジョ

国 語(その2)

二 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

おり「事実におのれを語らせる」ような学問領域であると思われている。 科学といえば、 だれの目から見ても共通な、 純粋に客観的な事実から成り立っていて、 しかし、 本当にそうだろ

まり、事実は人引きしい。 は、科学史をひとわたりナガメレバ簡単に理解されるだろう」と、村上陽一郎はいう。どうして 「その純粋に客観的な事実からのみ成り立っているはずの科学がしょっちゅう誤りを犯すこと 事実は人間に観察されてはじめて事実としての資格を得ることになるからである。 科学で扱われる事実も、 人間に依存しているからである。 っ

てあるがままの世界をそのまま受け取ることはできないのである。 れないが、その起こしているということを私たちは原理的に知ることができないのである。 のものではない。 を吹きつけた、 ルギーに燃え尽くしたウイルスの燃え殻に、さらに多くの場合はクロームなどの金属のジョウキ ように観察は、 たとえば、電子顕微鏡でウイルスを見るとしよう。私たちが見るものは電子のビームの高エネ いわば金属メッキされたウイルス灰の影絵であって、 しかもそのウイルスは観察過程のなかでなんらかの変化を起こしているかもし (2)という可能性を免れることができない。 この意味でも、 けっして生きたウイルスそ 観察はけっし この

随するこの[ものの見方]なのである。 れているものにソクバクを受けている。 このように観察事実は、 多かれ少なかれ、 そして観察事実に客観性を与えるものは、 観察者のものの見方、 つまり、 般に[理論]と呼ば 観察事実に付

で、日常生活でのこの「ものの見方」の役割を果たすものが、 な観察事実になる。この客観性は同じものの見方を共有する人びとのあいだでのみ成り立つもの たとえば、私たちには「白い雲のような影」が、 医者には「ケッカクやガンの病巣」という客観 科学の場では「理論」と呼ばれるの 7

う言い方が許されるだろう。 何かということになると、それは観察事実をソクバクする考え方の枠組みにほかならない、 まないのは、その間の等置関係の保証に理論系が動っているか。(3)________(3)________(3)_______(4)が観察された」ということであるのに、写真にしかじかの点(線)が観察された」ということであるのに、 る。たとえば「電子が観察された」という事実(報告文)はけっして事実ではなく、 科学における観察事実は、多くの場合、きわめて高度の理論を担ってはじめて成り立って その間の等置関係の保証に理論系が働いているからである。 私たちが科学者の言い方を怪し したがって、 実際は「霧箱の 理論とは とい

ことになるだろう。 そうすると、 果たして言えるものなのだろうか 科学における「事実の客観性」というものは「理論において成り立っている」という それでは理論における没価値性、 価値自由性(value-freedom)ということ

別々の異なる主張に向かうことになったのはどうしてか。 の見方が違っていたからである。 い「事実」を利用することができた、 いた「事実」 群より多かったとか、太陽中心説を決定的に有利に導くことができるような何か新し は異ならなかった、と言われている。つまり、コペルニクスのほうがプトレマイオスの手にして れら二つの理論を構築するための事実「群」は、 たとえばプトレマイオスの地球中心説とコペルニクスの太陽中心説のことを考えてみよう。こ というわけではなかったのである。 少なくともコペルニクスが自説を展開した段階で それはこの二人の前提にしていたもの それでは、 この二人が

見方に、 <u>る</u> と、 わせて、 かたをとらせてしまったわけである。そこで考えられることは、そうした前提、そうしたものの とも言える特殊なものの見方をとっていたのである。したがって、ここでは「完全性」の要請と、 不定の状態より高貴で神聖であると考えられる。 自然学の根本を支配するものの見方、 また完全な運動でなければならない。 「太陽への賛歌」という二つの異なる前提、 玉座に位するのであり、 プトレマイオスのほうは、「天界は完全な世界であり、 村上陽一郎はいう。 他方、 実は価値の問題がからんでいるということである。 科学は価値の問題から切り離すことができると考えるならば、 コペルニクスのほうは、 その周囲を回転する星々の一族を支配している」という、太陽への賛仰 科学における事実と価値の問題の性格をズバリといいえて妙ではな つまりギリシア科学を貫く[完全性]という理論を前提にし そして完全な運動とは円運動以外にない」というギリシア 一応この理論を踏襲しながらも、 ものの見方が、同一の自然にたいして異なる解明のし …太陽は宇宙の中心に静止している。…太陽は ここに存在する天体のおこなう運動も 「科学の客観性を没価値性に重ねあ それは大きな錯覚であ 「不動の状態は変化・

(間瀬啓允『生命倫理とエコロジー』)

設問 傍線(1)において、「事実は人間に観察されてはじめて事実としての資格を得ることにな どのような意味か。

設問2 筆者は、 (2)の空欄中に筆者が言わんとする文言を記せ。 観察がどのようなものから免れることができないと述べ 7 45 る Ø) ስ

設問3 意味か 傍線(3)において、 「その間の等置関係の保証に理論系が働いているから」とは、 どうい う

設問 4 は大きな錯覚である」とする村上陽一郎の言葉の意味するところを、 ペルニクスの各見解を示しながら記せ。 傍線4年において、 「科学は価値の問題から切り離すことができると考えるならば、 プトレマイオスとコ それ

設問 5 名をも含めて漢字で記せ 傍線を引いてカタカナで記した「ナガメレバ」「ジョウキ」「ケッカク」「ソクバク」を送り仮

菊地寛の著作の中に「若杉裁判長」という小説がある。

立会検事の論告は、冷静に事件を分析し(注3)(注4) (注4)(注4)(注2) の実刑判決を言い渡したのである。 た。そしていよいよ恐喝未遂事件の判決日を迎え、誰もが執行猶予の判 杉裁判長は、 なるという事態となり、 り知れないものがあり、妻はその翌日から四十度もの高熱を発して、 を発して犯人を退散させ、ことなきを得た。しかし、この事件の妻や子供に与えたショックは計 ともどもこの犯人を前にしてキョウガクし、若杉裁判長もその場の対応にクリョし、 裁判長宅に大男の泥棒が侵入するという出来事が起きた。 を解しないシュンゲンすぎるものと考えていた。ところが、 行猶予の判決が出るものと予想していた。若杉裁判長じしん、検事の論告は余りに被告人の心情 処断されるべきであるという厳しいものであった。判決言渡日も決まり、市民も新聞も当然、 あった。やがて、 置くように。言うことをきかなければ爆弾で家を焼き払う。」という脅迫文を送ったというもので 市内で恐喝未遂事件が発生した。 持ちがことのほか強く、 憎んで人を憎まず、 廷に若杉裁判長が現われるのを待っていた。ところが、若杉裁判長は、 る地方裁判所に勤務する裁判長若杉は、 自分はこれまで犯罪というのを余りに抽象的に考え、 その犯人が逮捕されて裁判となり、若杉裁判長の担当となったが、 冷静に事件を分析し、 たとえ九人の犯人を逃しても、 その判決はいつも寛大にすぎるというものであった。 子供も妙にオクビョウになってしまった。 事件は、 温情あふれる極めて同情的なものであった。 ある富豪の家に「金を包んで八幡神社の大鳥居の下に いたずらに感傷に流れることなく、 クリスチャンであり、 一人の無辜の者を作ることなかれ、 裁判長の妻は身重であり、 その判決言渡の三日前の深夜、 すべての被告・(注1) この事件をきっかけにして若 一時はその生命さえ危うく 被告人に対し、 決があるものと考えて法 そし 法に従って厳しく と反省するに至っ て、 結局、 三人の子供 しかし、 果たして という気 若杉 大声

ており、 九年ころのことであった。 私がこの小説に接したのは、 深いカンメイを受けたものである。それ以来、裁判とは何か、 ということを、 岡田良平検事が書かれた「法窓つれづれ草」の中でこの小説が紹介され より深く考えるようになっていったものである。 私が新任明けで長崎地検佐世保支部に勤務していた当時(注5) 検事の 職務とは 41 \mathcal{O} かにあ 昭 和 几

に育った若者が増え、 ぎて行き、 く抱く時がある。それこしてうまでは……、「はないかと思われる己の姿を見つけ、自戒の念を強にナリワイとして漫然として生きているのではないかと思われる己の姿を見つけ、自戒の念を強に、「3」 も多くなり、 しかしその後、 ある時は烈日なる態度で被疑者に接し、(注6) 意外と過去の常識、 中から刮目して学んで行くということはかなりの努力が必要である。 それにしても現代社会は、 歳月が流れ、 寄らば大樹の陰、 自分の生きざまをつれづれなるまま顧みてみるに、 権威、 伝統のしがらみから脱し得ず、 楽をして偉くなり 何かと忙しく、 あるいは時として裁判官のゼイジャクな人道主義を たい などという安直な考えをも めったに本音を言うこと ある時は秋霜 飽食の時代 う若者

すぎるように思えてならない。 あたり障りのない建前論を述べ、 唯々諾々として漫然と毎日を過ごしているような者が多

出会った時など、 秀才馬鹿とも思える者を世に多く送り出している。 は点数にならず、 が必要ではないか。 と増えてよいのでないだろうか。 命を初め、 教育も、 改善することが余りに多いように思われる。 何故か忙しく、 思索にふけり、 心が洗われるような清々し 沢山 の知識を子供に覚え込ませるだけで、 堂々と自己の意見を述べ、 悩みながら成長するというゆとりもなく、 い気持になる。 己を含めてではあるが、 目が生々と輝き積極的で気骨のある者に 改善のために前向きに取り組む姿勢 それくらいの気骨のある人物がもっ 肥後のもっこす、 思い やり」などということ ただ画一的でひ弱な 世の中には、 薩摩のぼっけも 精神革

と身分が高くなかったことと、 して立ち向かうことができたものである。 明治維新を成し遂げた西郷隆盛は当時四一歳だったというが、 若さゆえ過去のしがらみにとらわれず、 彼ら維新の英傑たちは、 社会の矛盾にカンゼンと もとも

念を披瀝し、 はないか。 今の検察にも、 一己を尽くして人をとがめず、 解決しなければならない大きな問題が山積しているが、 わが誠の足らざるを常にたずぬるべし」(西郷隆盛)で 我々は堂々と自己の信

世の中の改善に向かって突き進んで行きたいものである。 去の常識、権威を漫然と受け容れずに、 にも十分耳を傾け、 とまれかくまれ、 若杉裁判長に語らせた人間の機眼の弱さと確かさを知り、 物事を多面的に促えて自己研さんに努める謙虚さを身につけ、 維新の英傑や多くの先哲の思想に学びながら、 逆に被疑者の弁解 その一方で過 少しでも

それにしても、検察は今、燃えているのだろうか。

(加藤康榮「検察は今、燃えているか」『研修』四七四号)

- (注1) 犯人であるとして裁判に付された者。
- (注2) 法廷で被告人が裁判官等からの質問に答える場面
- (注3) 法廷に出ている検察官。 なお、 検事と検察官は、 ここでは同義と考えてよい
- (注4) 検察官の当該事件に対する意見
- (注 5) ることを指す。 検事が任官後一年間の「新任検事」と呼ばれる勤務期間を経た後に、 地方勤務に異動す
- (注6) 罪を犯した疑いのある者。

設問 1 | の空欄において、若杉裁判長は、どのように反省するに至ったのか。

設問 2 て具体的に述べよ。 傍線22において、 筆者は、 何をより深く考えるようになったのか。 筆者の考えを推察し

設 問 3 傍線③において、筆者は、どのような時に自戒の念を強く抱くのか説明せよ。

設問 4 何に嘆いてこのような希望を述べたのか説明せよ。 本随筆は、昭和時代の終わりころに書かれたものであるが、傍線仏において、筆者は、

設問5 傍線5の意味を述べよ。

設問 6 「ゼイジャク」、「ナリワイ」、「カンゼン」を漢字に直せ。 傍線を付した「シュンゲン」、「キョウガク」、「クリョ」、「オクビョウ」、「カンメイ」、

— 23 —

意味不明の概念を持ち出すことで議論に終止符を打ってしまう「カンバセーション・ストッパー」の尊厳という言葉はあまりにも多義的すぎて原理として使いものにはならない、それどころか、 こでは、それらの内容について検討し、 レイクの類いとして用いられているにすぎないと言ってよい。そのため、論者のなかには、 し、その多くは、 として乱用されることの方が多いから、この言葉は使わない方がよいと主張する人もあるよう んなものかを考えてみよう。 長い議論の歴史は、 むろん、人間の尊厳の内容を積極的に語り尽くすことには本質上限界があるだろう。 の議論において「人間の尊厳」という言葉が引き合いに出される例は少なくない。 議論を一定の方向に導く「原理」としてではなく、 この概念にいくつかの実質的な内容があることも明らかにしている。こ 法・倫理の原理として使用にたえる「人間の尊厳」とはど いわば議論を飾り立てるビジ

を明らかにすることにもなるだろう。 厳]は「AよりBの方が尊厳がある]というように、 方が価値がある」というように、他との比較で高低を論じることのできる相対的な概念だが、 種だが、通常の「価値」とは、次のような点で異なっていると言われる。 つ無条件に、このような意味での「尊厳」が備わっているという考え方だ。 人の「尊厳」が低下したり、失われたりすることはない。 「人間の尊厳」とは、 ②したがって、ある人の「尊厳」を軽んじることがあったとしても、そのことによってその なぜ人間だけなのか。これを明らかにすることが、 「尊厳」(dignity)という言葉の意味から考えてみよう。「尊厳」は広い意味での価 他と比較することのできない絶対的な概念で 同時に「人間の尊厳」という原理の内実 ① 「価値」は「AよりBの なぜそう言えるのか。 すべての人間に、 尊

オランダ人にとっての自律した生き方であり、 安楽死を施した医師に無罪を判示したのだった。「自分の流した涙は自分で拭き取る」というのが え他人に拭いてもらわなければならない状態は人間性の根本が脅かされていることだ」と述べ、 という医師の問いかけに対して、 患者は身体不能状態にあったが、 こそ人間としての尊厳がある、 い。それがいやだから泣かないのだ」と答えたという。これについて、 九八五年、 オランダで[アドミラル事件]と呼ばれる安楽死事件の判決があった。 ということだろう。 いっさい涙を見せることがなかった。「なぜ涙を流さないのか」 患者は「自分が泣けば誰かがわたしの涙を拭かなければならな そのような自律した生き方ができるということに 自律性を何よりも大切にするオランダ人らし ハーグ地方裁判所は「涙さ

と考えられている。 に見たケースでは、 このような考え方の最も重要な典拠がカントにあることは疑う余地がない。 自律性、 つまりは自己決定できるということこそが人間の尊厳の 内実だ

考えた。自然法則に従うよりほかない物質や本能にアヤツラレル動物は自律することができない ントは、 ある規律にのみ従って行為してこそ道徳的だということである。これが「自律」ということだ。カ それをやる」という無条件の動機に基づかなければならないと述べた。 [そうしないと非難されるから]といった条件付の動機ではなく、 者ラズは、 カントは、 自律性こそが人間の尊厳だという考え方は広く欧米社会にシントウした。 道徳的であることもできない。 このような自律した人間を「人格」と呼び、 こう述べている。 ある行為が道徳的だと言われるためには、「まわりの人がそうしろと言うから」とか つまりは、 人間にのみ尊厳があるということになる。 人格たりうることにこそ人間の尊厳があると 「やるべきことだと信じるから つまりは、 イギリスの法哲学 自分の内面に

を自己の管理下に置く権利を認めることである。」 とである。 「人間の尊厳を尊重するとは、 つまり、 各人の尊厳を尊重するとは、 将来を計画し、 構想する能力ある存在として人間を扱うこ 各人の自律性を尊重することであり、 将来

侵害する行為、 決定権の源泉だということになろう。人間の尊厳の名の下に制約可能なのは、 このように考えるならば、 つまりは他者危害の場合だけだということになる。 人間の尊厳は自己決定権を制約する上位原理ではなく、 他者の自己決定を むしろ<u>(4)</u> 自己

(葛生栄二郎・河見誠「自己決定権と人間の尊厳」『いのちの法と倫理(第三版)』)

傍線(1)に関して、 どのようなことを指しているのか。 「人間の尊厳」が「カンバセーション・ストッパー」として乱用されると

設問2 4), 傍線22に関して、 筆者は、 「人間の尊厳」の意味をどのようなものとしてとらえている

設問 3 傍線3に関して、 ここでいう「オランダ人らしい発想」とは何か。

設問 とは、 傍線4)に関して、ここで筆者がいう「人間の尊厳」が「自己決定権の源泉」となるというこ どのような意味か。

設問 5 含めて漢字で記せ。 傍線を引 いてカタカナで記した「ビジレイク」「アヤツラレル」「シントウ」を送り仮名をも